

## 第19回 日本都市計画学会中国四国支部 研究発表会プログラム

日時：2021年4月10日（土）9時30分～15時40分（Zoom設定9：00～16：00）

会場：オンライン

□開会挨拶（9：30～9：40）

学術委員会委員長：塚井 誠人（広島大学）

□研究発表

セッション1（9：40～10：40）

司会：倉内慎也（愛媛大学）

- ・コロナ対策と交通安全対策に関する意識の比較分析  
○清広晃輝（愛媛大学）・倉内慎也・吉井稔雄・金子平
- ・COVID-19による公共交通と都市への影響に関する一考察  
中村陸哉・○神田佑亮（呉工業高等専門学校）
- ・中山間地域における高齢者の生活行動と移動に関する研究  
～廿日市市玖島地区を事例として～  
○今川 朱美（広島工業大学）・柏 羿同

休憩（10：40～10：50）

セッション2（10：50～11：50）

司会：田中貴宏（広島大学）

- ・中山間地域における生活サービス拠点の機能と人々の滞在状況の関連に関する研究  
—「小さな拠点」の成立条件検討に向けて—  
○後藤拓（広島大学）・片野裕貴・赤松一澄・田村将太・田中貴宏・塚井誠人
- ・COVID-19の影響に着目した日本全国の旅客ODの推移  
○一万田凌（広島大学）・塚井誠人
- ・津波危険性が居住地選択に及ぼす影響に関する研究  
○渡辺公次郎（徳島大学）

昼休憩（11：50～13：00）

セッション3 (13:00~14:20)

司会：カ石真（広島大学）

- ・市場の両面性に着目した地域通貨普及のシミュレーション分析  
吉岡大誠・○カ石真（広島大学）・藤原章正
- ・歴史的景観キャラクタライゼーションに基づく景観の保全状況が地域愛着に与える影響分析  
○渡邊友泰（愛媛大学）・白柳洋俊
- ・適材適所の都市熱環境デザインを支援するアドバイスマップのあり方に関する研究  
—広島都心部を対象とした専門家協働ワークショップを通して—  
○井上莞志（広島大学）・田中健太・田中貴宏・松尾薫（大阪府立大学）・横山真（福山市立大学）・杉山徹（国立海洋研究開発機構）・吉原俊朗（中国地域創造研究センター）
- ・被爆50周年における広島市と長崎市の被爆建造物の実態把握とその後の推移に関する研究  
○石丸紀興

休憩（14:20~14:30）

□招待論文発表（14:30~15:30）

司会：神田 佑亮（呉工業高等専門学校）

- ・地域版経路検索システムの検索履歴データを用いた交通行動分析の可能性  
桑野将司（鳥取大学）

□閉会挨拶（15:30~ 15:40）

学術委員会副委員長：吉原俊朗（中国地域創造研究センター）